

【組織目標達成に向けた具体策】

(1) 授業づくりの視点と授業スタイルの共有化

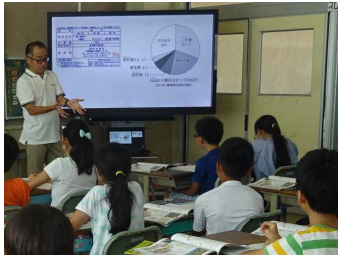
本年度の研究テーマ
 基礎・基本の定着を図る授業づくり
 ～「教えて考えさせる授業」による主体的・対話的で深い習得を目指して～

教える

知ろう（教師の説明）



教科書を活用した教師の説明で、本時の要点を知る。



- ◎教師が「分からせたいこと」「できるようにしたいこと」を説明する。
- ※教材、教具、ICT活用、演示、対話などでポイント、コツを押さえる。
- ・説明できる、分かる、少し分かる、分からないの4段階自己評価をさせておく。

考えさせる①

確かめよう（理解確認）



教科書を見て、ペアで説明し合い、ポイントを理解する。

- ◎教師の説明や教科書で知ったことを、ペアで相互に説明させる。
- ・「互いに説明する」というミッションにより、コミュニケーション力も育てる。
- ・活動中の子どもの表情を見取り、学べない子を支援する。
- ・全体の理解度に応じて再度説明する。

考えさせる②

チャレンジ（理解深化）



発展問題等をグループでの協働学習で解決する。



- ◎「誤解しがちな問題」「応用・発展問題」「技能習熟問題」等の課題を与える。
- ・個の学びを支える視点でグループを活用する。
- ・グループ内で相互確認や全体共有を行う。

考えさせる③

振り返ろう（自己評価）

本時の振り返りをする。

- ◎「わかったこと」「よくわからなかったこと」を書かせる。または、ペアで話させる。
- ・『知ろう』段階での4段階自己評価との比較をさせる。

＜授業参観の日常化＞ 指導法を研修すると共に子どもの学びの見取り方を研修する。

・授業研究…＜授業者の学び＞ ・相互参観…＜参観者の学び＞

月	授業研究	相互参観	月	授業研究	相互参観
5	5-1, 3-1, あおぞら	20日～24日	11	6-2, 1-1, さわやか	18日～22日
6	6-1, 2-1	17日～21日	12	3-2	2日～6日
7	5-2, ひびき	1日～5日	1	ひまわり	20日～24日
9	2-2, 社会科	9日～13日	2	4-1, 1-2	10日～14日
10	計画訪問(全学級)	21日～25日			

(2) 子どもの成長を支える授業以外の特色ある活動

① 愛宕中学校区
マナーアップ運動

- ・リーフリボン運動
- ・あいさつ運動
- ・クリーンアップ運動



「いじめ撲滅運動」であるリーフリボン運動やあいさつ運動に取り組んでいる。これらの活動を基盤に「龍の子人づくりカリキュラム」を策定し、小中一貫教育を推進している。

② 地域との連携,
伝統継承活動

- ・みのり集会
- ・龍神太鼓



児童が収穫した餅米を使って餅つきをし、地域の方々に感謝する「みのり集会」と、龍神太鼓が伝統活動である。

③ 開かれた職員室、校長室

- ・暗唱
- ・算数チャレンジ
- ・九九道場
- ・表彰簿



校長、教頭、教務主任、加配教員が職員室に待機する休み時間を設定し、各種検定を行っている。また、児童の些細な成長を保護者と共有する「表彰簿」を校長室で授与している。

五	学年
月	月日
日	
<p>ことがら</p> <p>あなたに教室のエアコンのフィルターを自主的に取っていただき、ありがとうございます。これからも教室をきれいに保つために気づいたことを積極的に行って下さい。</p>	
	担任印
	校長印
<p>保護者のことば</p> <p>素敵な内容の表彰簿おめでとうございます。人の役に立つことを自ら積極的にやることは将来大人になってもとても大切なことだと思います。これからも応援させていただきます。</p>	
	保護者印